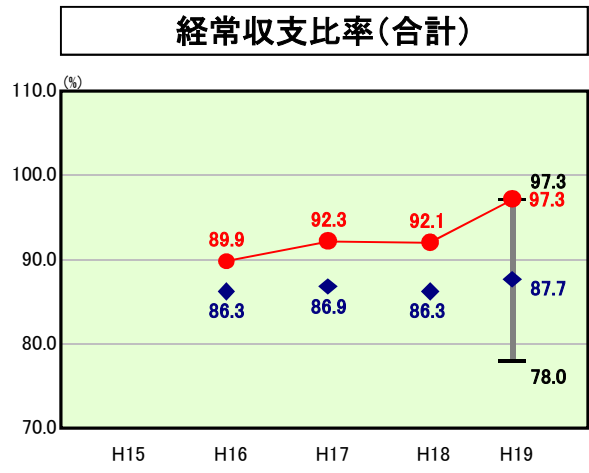


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

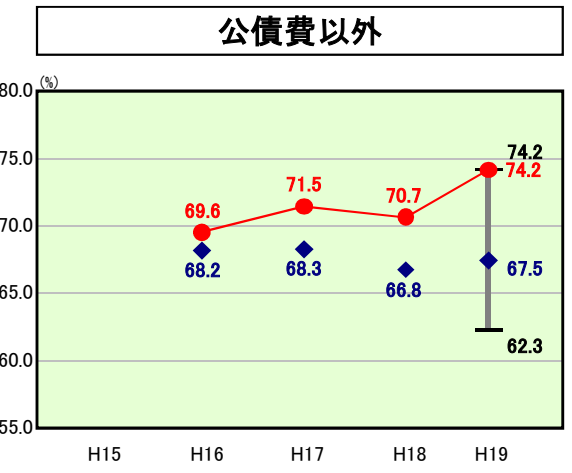
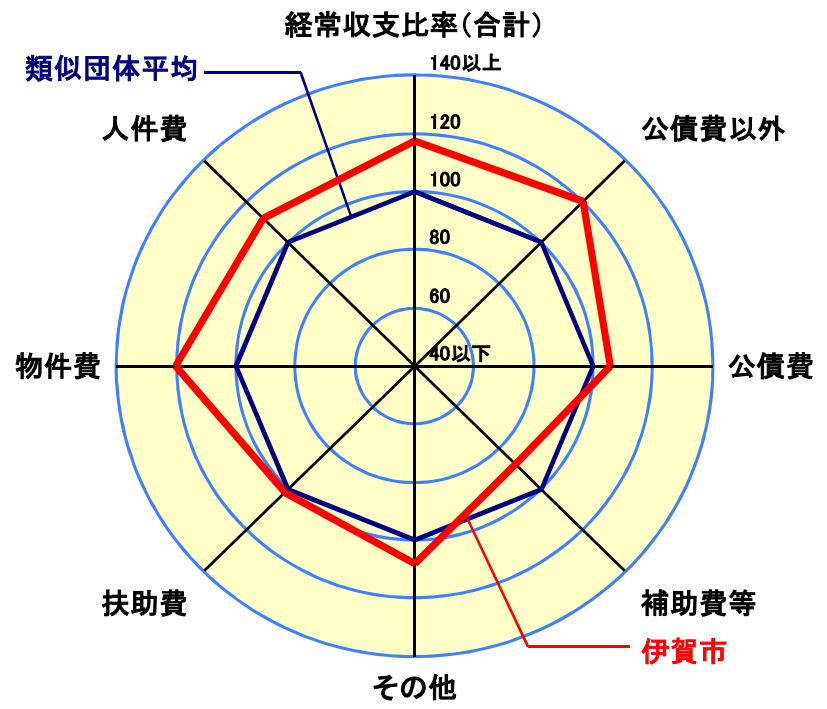
経常収支比率の分析



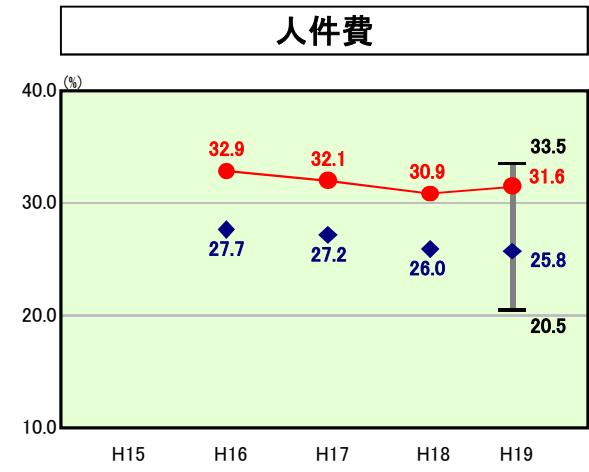
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▮

人口	97,058人(H20.3.31現在)
面積	558.17km ²
歳入総額	42,498,663千円
歳出総額	41,801,138千円

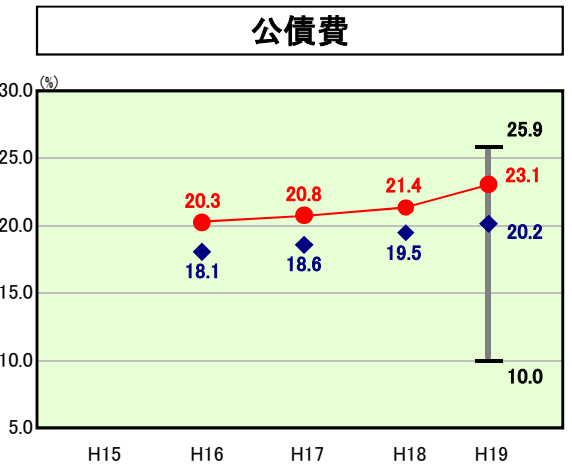
H19類似団体内順位 11/11
全国市町村平均 92.0
三重県市町村平均 88.9



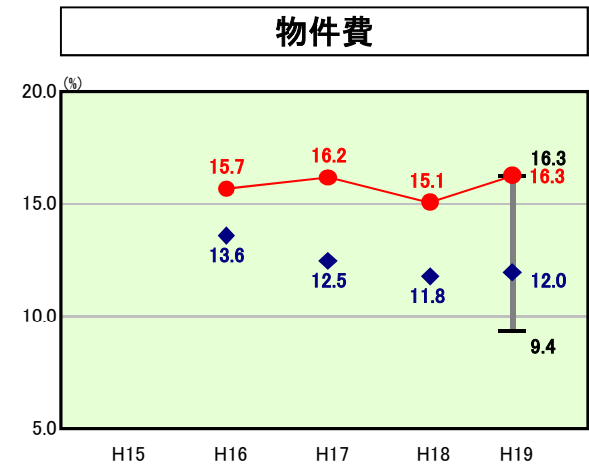
H19類似団体内順位 10/11
全国市町村平均 71.7
三重県市町村平均 70.6



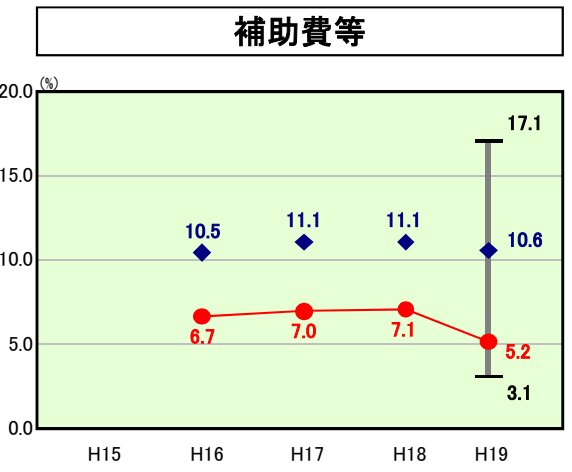
H19類似団体内順位 10/11
全国市町村平均 28.0
三重県市町村平均 27.6



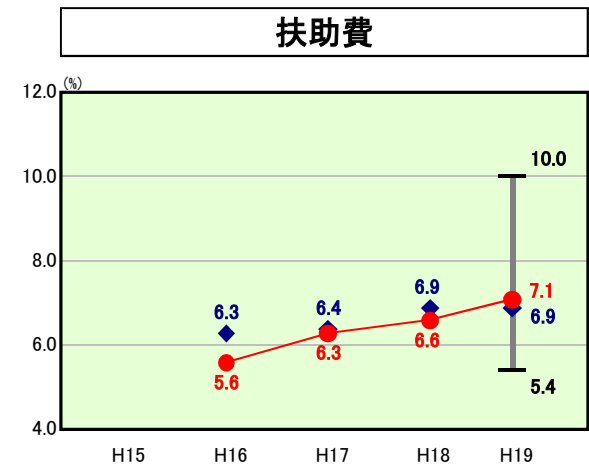
H19類似団体内順位 8/11
全国市町村平均 20.3
三重県市町村平均 18.3



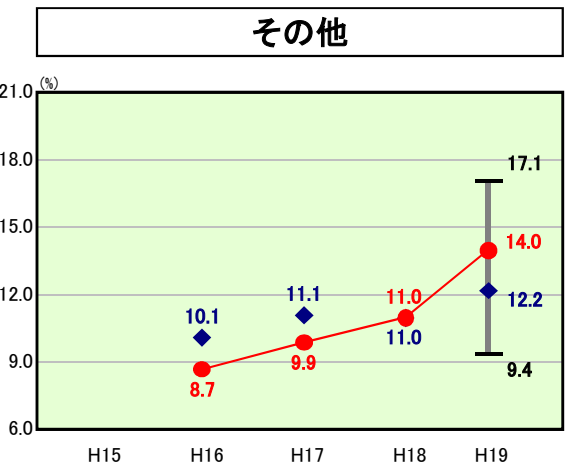
H19類似団体内順位 11/11
全国市町村平均 13.1
三重県市町村平均 14.6



H19類似団体内順位 2/11
全国市町村平均 10.4
三重県市町村平均 10.5



H19類似団体内順位 8/11
全国市町村平均 8.8
三重県市町村平均 6.7



H19類似団体内順位 10/11
全国市町村平均 11.4
三重県市町村平均 11.2

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費:6団体からの合併に伴い職員数が多く、経常収支比率に占める割合が高くなっている。定員適正化計画に基づく定数削減により高スピードで職員数は減員となっているが、団塊の世代による一時的な退職手当の増などで昨年度よりも0.7%上昇した。今後も定員適正化に向けた取り組みを進めるとともに各種手当の適正化を図り、人件費の削減に努める。

物件費:合併に伴い公共施設が多いこと、及び指定管理者制度の導入に伴い、直接管理から民間委託にしたことに伴い物件費が高くなっている。また、清掃事業など衛生関係事務について市単独で行っているため、一部事務組合で実施している類似団体に比べ物件費の割合が多くなっている。今後は、維持管理経費の削減を行うとともに施設の統廃合を行い、経費の削減に努める。

扶助費:本格的な高齢化社会の到来などを受けて、年々扶助費は増大しており、本市においては生活保護率も高く、今年度初めて類似団体を0.2%上回った。今後は、資格審査の適正化を行うとともに各種手当の特別加算の見直しなどにより、適正水準の維持に努める。

公債費:合併に伴う格差是正措置及び施設の統廃合を進めるため、施設整備などの大規模事業を行っており、その地方債の償還が本格化してきていることに伴い、昨年度に比べ1.7%増加しており、今後も高い割合で推移することが予想されている。今後は、高金利の借入れに対する繰上償還を行うとともに実施事業の見直しなどを行い、起債のプライマリーバランスの維持に努める。

補助費等:行財政改革に伴う各種団体に対する補助制度の見直しなどにより、昨年よりも1.9%下がり、類似団体と比較しても低くなっている。本市は、衛生事業などで一部事務組合実施でなく市単独で実施しているため、補助費の支出が少なく物件費割合が高くなっており、これを考慮すると類似団体平均とほぼ同水準である。

その他:繰出金は、昨年度から2.5%増で、農業集落排水事業特別会計などへの繰出金の増に加え、市街地再開発事業に今年度から事業着手したことによる増です。維持補修費についても0.5%増であり、今後は基準外繰